

横田基地「軍人の子供月間」 *Yokota recognizes Month of the Military Child*

April 24, 2023

By Airman 1st Class Natalie Doan
374th Airlift Wing Public Affairs

4月11日、横田基地で第374空輸航空団司令官アンドリュー・ラダン大佐と最先任上級曹長ジェリー・ダン最上級曹長が「軍人の子供月間」の宣言書に署名し、軍人の子供として特有の課題に直面しながら両親たちを支えている1,700人以上の横田基地の子供たちを労った。

「軍人の子供月間」は、1986年にキャスパー・ワインバーガー元国防長官によって制定され、軍隊のコミュニティーの一員である軍人の子供たちのレジリエンスに目を向け、称えるものである。現在、160万人以上いる軍属の子供たちは軍人の親と共に、平均して2～3年ごとに引っ越しをするため、新しい学校や環境に適応することを常に余儀なくされている。

ラダン大佐は、その宣言式典の中で、軍と家族を日々支えてきた横田の子供たちへ、感謝の意を表した。

ラダン大佐は、「今日、一同は軍人の子供たちを称えるためにここに集った」「ボランティアに参加しなかった子も、手を挙げなかった子も、君たち一人ひとりが、我々を支えてくれている特別な存在だ。最高にレジリエンスのある子供たちでいてくれることに感謝している」と語った。

挨拶に続き、ラダン大佐と第374空輸航空団の学校連絡官ジョシュア・フライ氏が、横田の生徒3人がデザインした「軍人の子供月間」の記念パッチを披露し、そのうちの生徒2人が、デザインに込めた意味などについて詳しく説明した。

横田中学校2年生のオーブリー・オーさんは、「私のデザインが、他の生徒のデザインとコラボされて、『軍人の子供月間』のデザインに選ばれたことを、光栄に思い嬉しく思います」と語り、「私のデザインは、軍属として世界中を旅できる特権からひらめいたもので、タンポポは、軍の転属や風の吹く先で適応することを学ぶ軍人の子供そのものを表しています」と説明した。

この4月、チーム横田は、逆境に直面しても親と同じように乗り越える心の強さを持ち続けている、横田基地そして世界中の軍人の子供たちに思いを寄せ、称える。

